

ギリシャ概況(2019年3月号)

1. 内政

- ・7日 ギリシャ国会が医薬品の公定価格設定に関する修正法案を賛成152票、反対110票で採択した。
- ・22日 ヨルゴス・ラザリディス無所属議員がNDに入党した。

2. 外政

- ・4～5日 カトウルガロス外相が訪中し、第13回ギリシャ・中国省庁間経済委員会に出席した。更に本委員会のマージンにて、王毅外相、鐘山商務部部長、寧吉喆国家発展改革委員会副議長等と会談した。
- ・5日 ライエン独国防相がギリシャを訪問し、アポストラキス国防相及びミツォタキスND党首と会談した。
- ・13～14日 カトウルガロス外相が「シリア及び地域の将来の支援に関する第3回ブリュッセル会合」に出席した。更に本会合のマージンにて、チャヴシュオール・トルコ外相と会談した。
- ・14～15日 モラレス・ボリビア大統領がギリシャを訪問し、チプラス首相と会談した。
- ・15日 ディミトロフ北マケドニア外相がギリシャを訪問し、カトウルガロス外相及びヴチス国会議長と会談した。
- ・18日 カトウルガロス外相がEU外相理事会(於:ブリュッセル)に出席した。
- ・18～19日 カトウルガロス外相がキプロスを訪問し、フリストドゥリディス外相及びシルリス国会議長等と会談した。
- ・20日 チプラス首相がイスラエルを訪問し、ギリシャ・イスラエル・キプロス3か国首脳会合に出席した。
- ・21日 カトウルガロス外相がトルコを訪問し、チャヴシュオール外相と会談した。
- ・同日 スピルジス・インフラ運輸相が北マケドニアを訪問し、スガレスキ運輸・通信相と会談した。
- ・27～28日 カトウルガロス外相がアラブ首長国連邦を訪問し、アブダッラー外務・国際協力大臣及びナヒヤーン寛容担当国務大臣と会談した。
- ・27～28日 アポストラキス国防相が訪米し、国連平和維持活動に関する閣僚会合に出席した。
- ・29日 チプラス首相がギリシャ・ルーマニア・ブルガリア・セルビア4か国首脳会合(於:ルーマニア)に出席した。

3. 移民・難民問題

2月には陸路でギリシャに到着する移民・難民の数が850名、島嶼部に到着する者の数が1,500名となり、移民・難民の流入数が前月(2019年1月)の2,650名から13%減少した。

2月28日現在 ギリシャに滞在する移民・難民は74,350名(UNHCR発表)。

4. 経済

(1) 経済動向

・2月28～3月3日 第4回デルフィ経済フォーラムが開催された。なお、本フォーラムにはチプラス首相、フリストゥリディス・キプロス外相、ディミトロフ北マケドニア外相、ビルチャル・ルーマニア副首相及びダッチ・セルビア第1副首相兼外相等が出席した。

・1日 格付け会社ムーディーズがギリシャの国債格付け評価をB3からB1に引き上げ、見通しを「安定的」とした。

・8日 ギリシャ電力公社(PPC)がメガロポリ及びメリティに所在する褐炭火力発電所の入札を開始した。

・11日 ツアカロトス財務相がユーログループ(於:ブリュッセル)に出席した。

・12日 ギリシャ政府が10年物国債を発行した。

(2) 財政

ギリシャ財務省が3月26日付で公表した2019年1月から2月の財政統計によると、1月から2月の財政収支は11億3,600万ユーロの赤字、同期間のプライマリーバランスは8億2,200万ユーロの黒字となった。同期間の歳入は78億3,300万ユーロで政府目標を3億4,400万ユーロ(4.6%増)上回り、歳出は89億6,800万ユーロと政府目標より5億6,600万ユーロ低く抑えられた。

(3) 輸出入

ギリシャ統計局の4月5日付の発表によると、2月の輸入総額は43億380万ユーロ(前年同月比4.0%増)、輸出総額は26億5,040万ユーロ(前年同月比9.3%増)となった。

(4) 観光業

ギリシャ観光業協会(SETE)の発表によると、12月の観光客は41万9,202人で、前年同月比23.9%増となった(国内主要空港の観光客到着数(暫定値)ベース)。内訳は、アテネ空港が27万9,787人(同20.6%増)で、テサロニキ空港が13万219人(同46.7%増)となった。

5. 経済指標

(1) 消費者物価指数

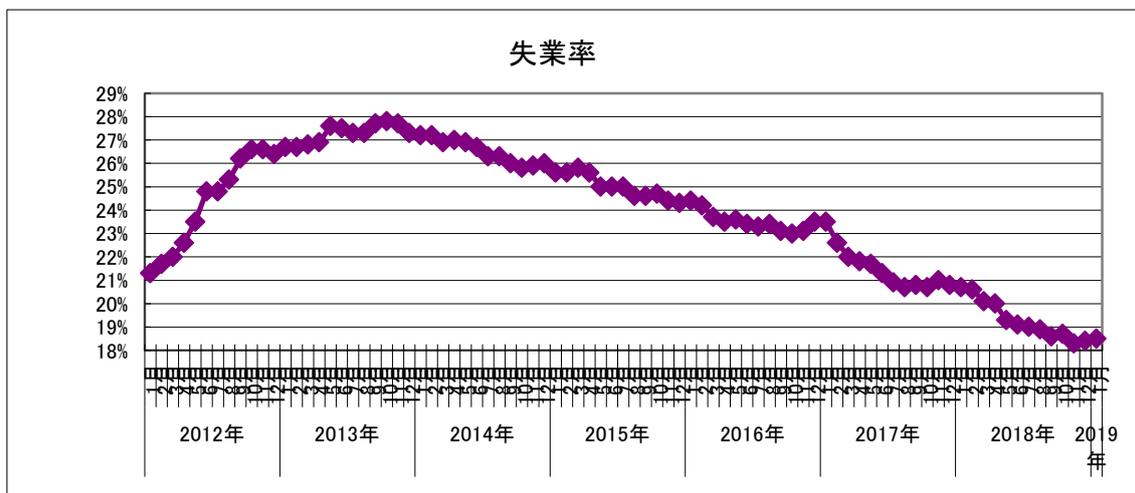
ギリシャ統計局の4月10日付の発表によると、3月の消費者物価指数は前年同月比0.9%増となった。



(出典:ギリシャ統計局)

(2) 失業率

ギリシャ統計局の4月11日付の発表によると、1月の失業率は18.5%となり、前月から0.1%増加した。



※2018年12月の失業率は、ギリシャ概況(2019年2月)公表後、ギリシャ統計局により18.0%から18.4%に修正されており、本号では当該修正後の数字を使用した

(出典:ギリシャ統計局)

(3) GDP

OECD のデータによると、2018 年第 4 四半期(10 月～12 月)の実質 GDP 成長率は前年同期比プラス 1.6%となった。



※2016 年第 1 四半期以降の実質 GDP 成長率は、ギリシャ概況(2019 年 2 月)公表後、OECD により修正されており、本号では当該修正後の数字を使用した。

(出典: OECD)

※この概況は各種報道・公表資料を基に作成した。

(了)